

# 岐阜信用金庫

岐阜市・金融

平成28年度  
認定

家庭と仕事の両立を支援するため、有給休暇や育児・介護を目的とした長期休暇を取得しやすい雰囲気構築。職種の慣習を取り払うべく、女性の活躍分野拡大や管理職増加も推進している。

従業員数／男性1,111名 女性937名 計2,048名 ※平成30年1月現在



育児休業から復帰後、自宅に近い店舗に勤務し、2人の子育てをしながら働く大垣支店の竹中麻美さん。

## 家庭状況に応じ、WLBを考慮

連続休暇5日間のフリーホリデーを促進し、年次有給休暇取得率の向上に努めてきた岐阜信用金庫。取得率アップや所定外労働時間の改善に加え、男性の育児休業や配偶者出産休暇の取得実績があり、

女性の育児休業も過去3年で100名と、100%の取得率を誇る。

育休から復職時には、事前に聞いた配属希望に沿うよう配慮。人事部の女性職員2名の発案で、年2回「育児休業座談会」も行われ、職場復帰をサポートする。大垣支店の竹中麻美さんは「復帰後は時短勤務が可能で、働き続けるには最適の職場」と話す。

各部室店の役席は、職員の自宅を年1回訪問し、家庭状況を把握。家庭の問題点や職場への要望を聞き取り、WLBに考慮した職場を目指す。介護離職の防止に向け、介護休業も法を上回る一人通算365日を制度化。2018年1月までに4名が取得している。

また、女性の活躍推進・管理職増加に向け、「女性営業職50名以上増加」を目標に、18年1月までにファイナンシャルアドバイザーを



初の女性支店長となった木本直美さん(左)。現在2名の女性が支店長として活躍している。

119名まで増員し、今後も増加を計画。管理職登用にも積極的に取り組んでおり、16年1月には、初の女性支店長も誕生。日野支店の木本直美支店長は「育児と仕事の両立に悩む職員を導きたい」と、自身の経験を生かし、働きやすい職場づくりを心掛けている。